

「日々これあり歯科技工」

日々臨床では失敗や新しい発見があるものです。私は40年臨床を行っていますが今行っている方法が完璧だと思ったことはありません。いつになっても失敗は起こりえます。

今回の講演では去年2022年に遭遇した失敗例や新しい発見・疑問を報告したいと思いません。

1. コーヌステレスコープの失敗臨床例

コーヌステレスコープ義歯が口腔内でピッチングした失敗例から内冠の適合・ろう着。これはコーヌステレスコープに限らずブリッジの製作においても役立つ報告になると思っております。

2. ブリッジのポンティック基底面の適合手法

リッジラップ型ポンティックの基底面が粘膜面に適合していない臨床例がよく見かけられます。きれいに適合していない場合、食渣の残留から不潔な口腔内になってしまいます。より適合の良い基底面の製作方法を報告します。

3. シェードテイキングを楽しむために

歯科技工士にとってなれない診療室は緊張するものです。誰もが経験していることと思います。気楽に患者様とうまくコミュニケーションをとる手法、再製作にならないためのシェードテイキングに関して報告したいと思えます。

4. そのほか 日々疑問に感じているものなどを提示し、皆様と意見交換できればと思っています。

関根 明